

意見3

第42回郡山市子ども・子育て会議における放課後児童クラブの持続可能な事業運営に向けた対応への意見

No.	意見内容	回答
1	料金改定とともに、新たな支援策として減免制度を設けることの意味は大変大きいと思う。	
2	待機児童はこれからもどんどん発生してくると思われる。このことに対しての具体的な取組み内容を教えてほしい。	学校の余裕教室や近隣の公共施設等を活用した施設整備を進めるとともに、民間児童クラブとの連携、さらには民間活力の導入なども視野に入れ、あらゆる方策について検討してまいります。
3	民間活力を導入することによって、事業者によって質の差が出てくるのではないかと心配である。	放課後児童クラブの持続可能な事業運営に向けて、質の確保はもちろん、子ども達が安心して過ごせる場としてのクラブ運営の方策について、検討してまいります。
4	保育施設等と同様に、しっかりと研修等を行い、スキルアップされることを望む。	放課後児童支援員の認定資格取得及び資質向上を目的とした県主催の研修への参加のほか、市においても、資質向上を目的とした支援員の毎月の意見交換や教職員OBである指導職員による各クラブへの巡回指導などを行い、質の向上を図っておりますが、支援員のスキルアップに向け、さらに取り組んでまいります。

第42回郡山市子ども・子育て会議における放課後児童クラブの持続可能な事業運営に向けた対応への意見

No.	意見内容	回答
5	<p>現在保育所等に通所している子どもがそのまま小学校へ通うので、小学校（放課後児童クラブ）でも待機児童が発生しニーズが増加するのは必至と考える。当然運営コストが増加することだろう。今回の料金改定は、減免制度や多子世帯の負担軽減等を設け、かつ、現行料金の1.3倍ということで妥当だと思う。</p>	
6	<p>利用料が16年間据え置きされていたことから、値上げはやむを得ないと思う。</p>	
7	<p>新たな支援策として減免制度や多子世帯負担軽減を設けることは、賛成である。</p>	
8	<p>民間活力導入について、子ども達の安全・安心及び支援員の雇用等についても課題があることから、業務委託、指定管理等に移行した際の、子供達・保護者・支援員のメリット・デメリットを明らかにし、国・県にも補助金増額の要望を働きかけ、料金改定後、当面は郡山市の自助努力にて対応すべきである。</p>	<p>業務の効率化だけでなく、子ども達の安全・安心を第一に考え、各関係者への影響も十分考慮のうえ、放課後児童クラブの持続可能な事業運営に向けて、あらゆる方策について検討してまいります。</p>
9	<p>負担割合の変更がやむを得ないのであれば、児童クラブの受け入れ条件や内容も、従来の方法から持続可能な方法へと、検討する必要があるのではないかとと思う。</p>	<p>放課後児童クラブの入会条件については、自営や農業の方も該当とし、勤務日数・時間等の条件についても、現在も預けやすい条件となっていると考えております。クラブの持続可能な事業運営に向けた事業内容については、今後検討を続けてまいります。</p>
10	<p>保護者の働き方が多様化していくなか、児童クラブもニーズに合った柔軟な対応（一時預かりや不定期利用、質の向上など）をしていくことで、保護者の理解も得られるのではないかとと思う。</p>	<p>一時預かりや不定期利用については、まずは、待機児童が解消されたうえでの検討内容と考えております。また、質の向上については、引き続き取り組んでまいります。</p>
11	<p>問題点に対する対応については、それでいいと思う。</p>	